

## 県・各地域視聴覚ライブラリー

# 平成26年度 映像教材活用事例(前期)

県視聴覚ライブラリー、各地域視聴覚ライブラリーなどの映像教材を活用した学習や研修会の事例を収集しました。

学校教育や社会教育、生涯学習で映像教材を取り入れた学習や研修会等を計画する際の参考としてください。

### 県内の視聴覚ライブラリー保有教材の検索方法

### 映像教材の借用方法・各地域ライブラリー連絡先

## 映像教材活用事例

【分類 学：学校教育 社：社会教育 職：職場・職員研修 他：その他】

	分類	学習・研修会	映像教材名	事例提供団体等
1	学	職員研修	「日常の人権 ~気づきから行動へ~」	鹿児島市立坂元台小学校
2	社	女性学級学習会	「家庭の中の人権 生まれ来る子へ」	中山女性学級
3	学	こども学科研修会	「人権のヒント 地域編 『思いにみ』から『思いやり』へ」	神村学園専修学校
4	学	校内研修	「人権のヒント 職場編 気づきのためのエピソード集」	日置市立飯牟礼小学校
5	学	避難訓練	「地震だ！その時どうする。」	日置市立土橋小学校
6	社	家庭教育学級	「人権のヒント 地域編 『思いにみ』から『思いやり』へ」	南九州市立穎娃小学校
7	社	PTA スクール	「知っておこう！小学生の携帯電話」	さつま町立柊野小学校
8	他	管理職情報教育研修講座	「ぐりぶー・さくらのスマホ時代のネットトラブル予防教室」	霧島市メディアセンター
9	学	避難訓練	「イカのおすし」	鹿屋市立西原台小学校
10	学	避難訓練	「ボクはすぐに逃げたんだ」	鹿屋市立菟川小学校
11	学	道徳の時間	「道徳ドキュメント人生はチャレンジだ『あきらめたことをあきらめない』」	鹿屋市立細山田小学校
12	学	理科学習	「NHK デジタル教材 5年生理科『ふしぎがいっぱい』」	鹿屋市立鶴峰小学校
13	学	校内研修	「学校の管理下における食物アレルギーへの対応~教職員の共通理解」	中種子町立納官小学校
14	社	家庭教育学級	「ぐりぶー・さくらのスマホ時代のネットトラブル予防教室」	中種子町立納官小学校
15	社	家庭教育学級	「ケータイ・トラブル~子どもを犯罪者・被害者にさせない~」	中種子町立増田小学校
16	学	職員研修	「教員のためのメンタルヘルス」	屋久島町立八幡小学校
17	学	社会科学習	「比べてみよう 全国統一を目指した3人の武将」	宇検村立久志小学校
18	学	総合的な学習の時間	「さとうきび畑の詩 清ら島 沖縄~摩文仁からのメッセージ~」	瀬戸内町立薩川中学校
19	学	校内研修	「ドライブレコーダーの証言~危険予測を学ぶ~」	龍郷町立龍郷小学校
20	社	ミニ映画会	「1年1組シリーズ」	喜界町図書館
21	学	道徳の時間	「見上げた青い空」	喜界町立喜界中学校
22	学	校内研修	「交通安全教育用ビデオ『飲酒運転許されぬ犯罪』」	天城町立兼久小学校
23	学	学級活動	「新ぎもん・しつもん！むし歯の予防」	知名町立田皆小学校

事例を提供して下さった学校、教育委員会、教育事務所、各種団体の皆様、御協力ありがとうございました。

視聴覚ライブラリー教材を  
利用しませんか？

映像を取り入れた学習は...

おもしろい！楽しい！よく分かる！



社会教育や学校教育，職場研修等で活用できます

親子・子ども映画会  
高齢者の学習  
青少年・女性団体の活動  
PTA研修  
家庭教育学級

教科指導  
総合的な学習の時間  
学校行事

などの場で

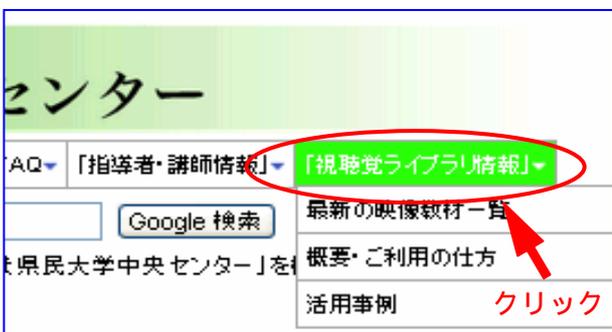
男女共同参画  
健康・安全  
食，環境，性，生き方  
福祉・ボランティア  
人権 などの内容に関する教育・研修で

県内の視聴覚ライブラリーが保有している教材を検索できます

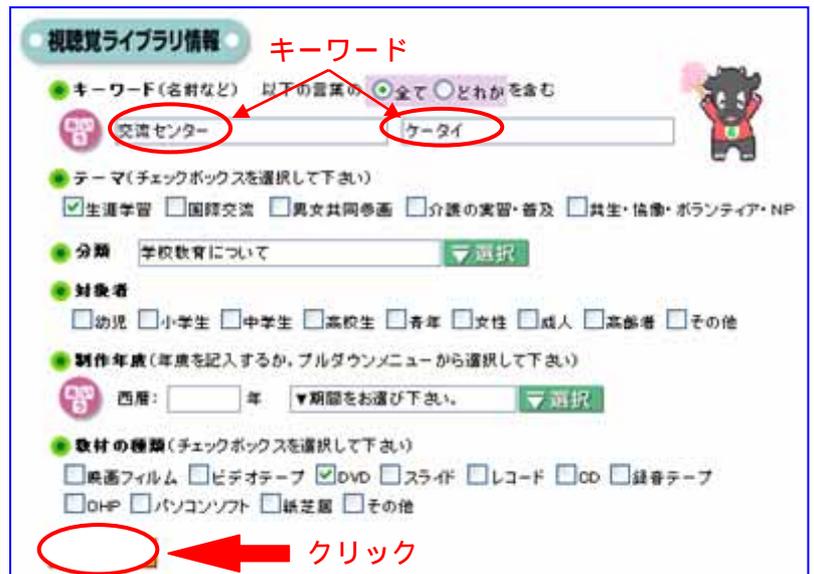
1 かがしま県民大学中央センターのホームページを開く



2 「視聴覚ライブラリー情報」をクリック



3 検索画面でキーワードを入力して「検索」をクリック



県視聴覚ライブラリーが保有している教材を検索する場合  
検索キーワード「**交流センター**」を入力して検索  
(電話での問い合わせも可 裏面参照)  
例：県視聴覚ライブラリー保有で「**ケータイ**」に関するDVDの検索

# 教材選びの参考資料をご覧いただけます



かごしま県民大学中央センターホームページでは

- 「最新の映像教材一覧」
- 「よく利用されている教材一覧」(ジャンルごと)
- 「映像教材活用事例」

をご覧いただけます。教材を選ぶ際の参考資料とさせていただきます。

## 教材利用の手続きは簡単です

「学校・団体名」、「教材名」、「利用する期日(期間)」を連絡し、利用できるか確認してください。  
(他の学校や団体が借用中で、利用できない場合もあります)

予約は3か月前から受け付けます。教材利用が決まったら早めに連絡してください。

### 市町村立・私立小中高等学校，社会教育関係団体及び事業所等（職場研修）での利用

所在の市町村教育委員会またはお近くの地域視聴覚ライブラリーへご連絡ください。

	名称	電話番号	構成市町村
1	鹿児島市立学習情報センター	099-227-1925	鹿児島市
2	指宿市視聴覚ライブラリー	0993-23-5100	指宿市
3	枕崎市立視聴覚ライブラリー	0993-72-0170	枕崎市
4	南九州市視聴覚ライブラリー	0993-83-2111	南九州市
5	南さつま市立視聴覚ライブラリー	0993-53-2111	南さつま市
6	日置市視聴覚ライブラリー	099-273-2111	日置市
7	いちき串木野市視聴覚ライブラリー	0996-21-5128	いちき串木野市
8	さつま町視聴覚ライブラリー	0996-53-0900	さつま町
9	薩摩川内市立視聴覚ライブラリー	0996-22-3542	薩摩川内市
10	霧島市メディアセンター	0995-64-0919	霧島市
11	始良市視聴覚ライブラリー	0995-62-2111	始良市
12	湧水町視聴覚ライブラリー	0995-75-2142	湧水町
13	曾於地区視聴覚教育協議会	099-482-2647	曾於市, 志布志市, 大崎町
14	出水地区視聴覚教育協議会	0996-84-2369	阿久根市, 出水市, 長島町
15	伊佐市視聴覚ライブラリー	0995-22-1613	伊佐市
16	肝属東部地区視聴覚教育協議会	0994-65-2594	肝付町, 東串良町
17	錦江町視聴覚ライブラリー	0994-22-0517	錦江町
18	南大隅町視聴覚ライブラリー	0994-24-3111	南大隅町
19	垂水市視聴覚ライブラリー	0994-32-0224	垂水市
20	鹿屋市立図書館(視聴覚)	0994-43-9333	鹿屋市
21	奄美群島広域事務組合視聴覚ライブラリー	0997-52-6032	奄美市, 大島郡各町村
22	西之表市立視聴覚ライブラリー	0997-22-1111	西之表市
23	中種子町立視聴覚ライブラリー	0997-27-1111	中種子町
24	南種子町立視聴覚ライブラリー	0997-26-1111	南種子町
25	屋久島町立視聴覚ライブラリー	0997-46-3221	屋久島町
26	鹿児島郡視聴覚連盟	099-222-3141	三島村, 十島村

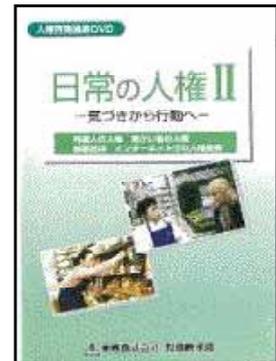
### 県立学校，国立学校，大学・短期大学，県教育機関での利用

県視聴覚ライブラリー事務局(かごしま県民大学中央センター学習情報係)へご連絡ください

電話 099-221-6606

## 映像教材活用事例 1 ( 前期 )

事例提供団体等名	鹿児島市立坂元台小学校		
学習・研修会名	職員研修	対象者	職員
学習・研修内容	人権同和教育		
映像教材名	日常の人権 ～気づきから行動へ～	種類・時間	DVD・23分
映像教材の概要	<p>この作品は、日常生活の中に潜む様々な人権問題を取り上げています。ドラマで人々の心にある偏見を、そしてドキュメンタリーで、差別や偏見などで苦しむ人々の心の痛みを伝えます。人権について、「外国人の人権」「障がい者の人権」「部落差別」「インターネットでの人権侵害」等、多様な角度から考えることができる作品です。</p>		
教材借用先等	鹿児島市立学習情報センター		
映像教材活用の実際	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 人権同和教育の現状と課題について説明               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 部落差別事件・事象が提起していること</li> <li>(2) 同和教育を基軸とした人権教育の推進 資料：文部科学省「人権教育の指導方法等の在り方について」(第三次取りまとめ)から</li> </ol> </li> <li>2 人権教育研修資料の読み合わせ               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 同和問題に関する理解</li> <li>(2) 指導の在り方の確認 資料：鹿児島県教育委員会「なくそう差別 築こう明るい社会～同和問題基礎資料～」</li> </ol> </li> <li>3 DVD教材の鑑賞               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 日常に潜む様々な人権問題について、DVDを視聴</li> <li>(2) ワークシートに考えや感想を記入</li> </ol> </li> <li>4 各班ごとの発表と全体での意見交換</li> <li>5 研修のまとめ</li> </ol>		
成果・課題	<p>教育の現場で必要とされている知識や指導法などの研修が深められた。DVDでは、当事者のインタビューもあり、人権に対する問題提起がなされたもので、各テーマごとに考えさせられる内容であった。問題点や考えをDVDに付属しているワークシートに記入し、意見交換を行った。話し合いが活性化し、人権問題について考えを深められた。</p>		



## 映像教材活用事例 2（前期）

事例提供団体等名	中山女性学級		
学習・研修会名	女性学級学習会	対象者	会員
学習・研修内容	人権教育		
映像教材名	「家庭の中の人権 生まれ来る子へ」	種類・時間	DVD・25分
映像教材の概要	<p>「家庭の中の人権」に目を向け、祖父母と孫夫婦の会話を通して、私たちの身の回りにある人権問題をクローズアップしている。家庭の中で、人権の尊さについて語り合い、伝えていくことは、すべての「いのち」を大切にすることでもある。気付くこと、そして行動することの大切さを描いた作品である。 (文部科学省選定)</p>		
教材借用先等	鹿児島市立学習情報センター		
映像教材活用の実際	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 人権教育資料の読み合わせ</li> <li>2 DVD教材の鑑賞</li> <li>3 ワークシートを活用し、班ごとの意見交換</li> </ol>		
	<p><b>【ワークシート内容】</b></p> <p>(1) 差別をなくし、明るい家庭や社会を築いていくために、生活の中で大切にすべきことは何か。</p> <p>(2) いじめの現場や障害者、高齢者の方が困っている時、どのように対応するか。</p>		
成果・課題	<p>思いやりの心をもって接することの大切さを再認識した。  「人間としてどのような心で接していくことが、お互いに幸せなのか」考えるきっかけになった。  「認知症の方との関わり方」について学びたいという意見も多かったので、次回の研修会に取り入れたい。</p>		



### 映像教材活用事例 3 ( 前期 )

事例提供団体等名	神村学園専修学校		
学習・研修会名	こども学科研修会	対象者	専修生
学習・研修内容	人権教育		
映像教材名	人権のヒント 地域編 「思い込み」から「思いやり」へ	種類・時間	DVD 25分
映像教材の概要	日常生活にある様々な場面での人権問題を「地域」としての視点から取り上げ、自分の中の人権意識を考えるためのきっかけづくりとするための作品である。		
教材借用先等	鹿児島県視聴覚ライブラリー		
映像教材活用の実際	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 身近な人権問題について話し合う。</li> <li>2 DVDを視聴する。</li> <li>3 場面ごとに意見を出し合う。(グループで話し合う) <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 結婚したら、女性は家庭に入るのが常識？</li> <li>(2) 自分の意見を通すために強く主張して相手を傷つけたり、言い出せなくて自分が傷ついてしまったりしたことはありませんか？</li> <li>(3) 同和問題や外国人差別など、根拠のない思い込みと決めつけはありませんか？</li> </ol> </li> <li>4 全体で話し合う。</li> <li>5 感想をまとめる。</li> <li>6 指導者の話を聞く。</li> </ol>		
成果・課題	<p>教材が身近で具体的な場面が多かったため、参加者は自分のこととして受け止め、人権尊重の意識を高めることができた。</p> <p>「自分の中にある思い込みや差別意識に気付くことができた。」「これからは人権問題についての正しい知識を学び、誰にでも思いやりの心で接したい。」などの感想があった。</p>		

### 映像教材活用事例 4（前期）

事例提供団体等名	日置市立飯牟礼小学校		
学習・研修会名	校内研修	対象者	教職員
学習・研修内容	セクハラ・パワハラ研修		
映像教材名	「人権のヒント 職場編」 気付きのためのエピソード集	種類 時間	DVD 22分
映像教材の概要	ごく普通の会社員の日常を描きながら、日ごろは気付かない「人権のヒント」を探り、職場の中で私たちが考えるべき人権問題について提起する。		
教材借用先等	鹿児島県視聴覚ライブラリー		
映像教材活用の実際	<p>1 日程説明</p> <p>2 ビデオ視聴 「人権のヒント 職場編」</p> <p>3 協議</p> <p>(1) 気付いたことや思ったことをワークシートに記入する。</p> <p>(2) 気付いたことや思ったことについて話し合う。</p> <p>(3) 働きやすい職場にするために大事なことを話し合う。</p> <p>4 学習のまとめ</p>		
成果課題	<p>これまでの経験をもとに、日ごろ語り合っていないことも話し合うことができた。</p> <p>この研修会により、お互いの人格を尊重し合うことやお互いが大切なパートナーであるという意識を再確認するよい機会となった。</p> <p>相談体制の更なる充実に努める必要がある。</p>		

## 映像教材活用事例 5（前期）

事例提供団体等名	日置市立土橋小学校		
学習・研修会名	避難訓練	対象者	幼児，児童
学習・研修内容	地震避難訓練		
映像教材名	「地震だ！その時どうする。」	種類 時間	DVD 18分
映像教材の概要	地震の際の避難の仕方，自分の命は自分で守ることの大切さや地域の協力の大切さを教えている。		
教材借用先等	鹿児島県視聴覚ライブラリー		
映像教材の活用	<p>1 事前指導</p> <p>(1) 地震の恐ろしさを理解させ，避難訓練の意義を理解させる。</p> <p>(2) 火災発生の場合の基本的行動様式について理解させる。</p> <p>(3) 地震（震度5発生）</p> <p>(4) 緊急通報（1回目）</p> <p>(5) 机の下にもぐる。</p> <p>(6) 緊急通報（2回目）</p> <p>(7) 誘導</p> <p>(8) 人数点検</p> <p>(9) ビデオ視聴 「地震だ！その時どうする。」</p> <p>(10) 講評（校長）</p> <p>2 事後指導</p> <p>教室に帰り，各学級で反省する。</p>		
成果課題	<p>園児から小学生全学年の実施だったが，五感に直接訴えるDVDの活用により，真剣に訓練に取り組む姿が見られた。</p> <p>その他の自然災害が起きたときの対応についても，今後考えていかなければならない。</p>		

## 映像教材活用事例 6（前期）

事例提供団体等名	南九州市立穎娃小学校		
学習・研修会名	家庭教育学級	対象者	学級生(保護者)
学習・研修内容	人権教育		
映像教材名	人権のヒント 地域編 ～「思い込み」から「思いやり」へ～	種類・時間	DVD 25分
映像教材の概要	<p>「結婚したら女は家庭に入るのが常識か。」「障がいのある人は何が何でも介護されるべき存在か。」「同和問題や外国人差別など、根拠のない思い込みと決めつけはないか。等私たちが考えるべき人権問題についてドラマ仕立てで問いかけている。</p>		
教材借用先等	鹿児島県視聴覚ライブラリー		
映像教材活用の実際	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会のあいさつ(校長) 家庭教育学級について</li> <li>2 人権問題について 人権啓発パンフレット「ともに生きる」を読み、様々な人権問題があることを理解する。</li> <li>3 DVD視聴 「人権のヒント 地域編 ～『思い込み』から『思いやり』へ～」</li> <li>4 意見交換 DVD視聴を通して、分かったことを自分なりにまとめ、感想を発表する。</li> <li>5 今年度の計画について</li> <li>6 閉会のあいさつ(学級長)</li> </ol>		
成果・課題	<p><b>成果</b> 身近な社会生活の中には、人権に配慮しなければならないことが多くあることを知り、人権について考えるよい機会となった。 今まで、常識と思い込んでいることでも、勝手な思い込みであることも多くあり、一つの事象もいろいろな角度から考えていく必要があることを知ることができた。</p> <p><b>課題</b> 人権について、知識としては理解が深まったと思うが、実生活の中で、今後、学習したことをいかに生かしていくか、実践力が問われる。 人権について、もう少し深く話し合う時間が必要である。</p>		

## 映像教材活用事例 7 ( 前期 )

事例提供団体等名	さつま町立柊野小学校		
学習・研修会名	P T A スクール	対象者	児童，保護者，職員
学習・研修内容	情報モラル教育		
映像教材名	知っておこう！小学生の携帯電話	種類・時間	D V D 17分
映像教材の概要	小学生が携帯電話を持つ上で注意すべき点や，使用効果など様々な角度からメリット，デメリットを挙げて，小学生が安全に正しく携帯電話を使うために守らなければならない約束事を解説している。		
教材借用先等	さつま町視聴覚ライブラリー		
映像教材活用の実際	<p>1 ねらい 小学生が携帯電話を持つことのメリットやデメリットについて知り，情報モラルの向上を図る。</p> <p>2 主な流れ ( 1 ) ビデオ「知っておこう！小学生の携帯電話」を視聴する。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 携帯電話を持つようになった理由</li> <li>・ 携帯電話を持つときの注意点</li> <li>・ 携帯電話と防犯</li> <li>・ 携帯電話との上手な付き合い方</li> </ul> ( 2 ) 携帯電話の使い方やネットトラブルについて話し合う。</p>		
成果・課題	<p>&lt; 成果 &gt; 携帯電話を持つことのメリット，デメリットや使用するときの注意することを知る良い機会になった。また，スマホ時代のネットトラブルの予防についても話し合うことができた。</p> <p>&lt; 課題 &gt; 携帯電話やインターネットでのトラブル防止のために，学校と家庭が連携して対応していくことが必要である。</p>		

## 映像教材活用事例 8（前期）

事例提供団体等名	霧島市メディアセンター		
学習・研修会名	管理職情報教育研修講座	対象者	管理職
学習・研修内容	ICT(パソコン等の情報通信技術)の活用を広め教育の情報化を推進させるために、校長・教頭を対象に ICT に関する基礎知識や教育用コンテンツの作成などに関する研修を行い、管理職の ICT 活用能力向上を図る。さらに、情報セキュリティや情報モラル指導に対する意識を高め、児童生徒をネットトラブルから守る指導を各学校で展開できるようにする。		
映像教材名	ぐりぶー・さくらのスマホ時代のネットトラブル予防教室	種類・時間	DVD・12分
映像教材の概要	ネット社会の実態と危険性を啓発すると同時に、ネットトラブルに遭遇した際の対処法を学ぶことを目的に制作されている。		
教材借用先等	霧島市メディアセンター		
映像教材の活用の実際	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 映像を見る視点の共有化 ネットいじめにあったときの対処法 ネット依存にならないための対処法 著作権や肖像権を侵害しないために気を付けること 高額請求にあわないための方法など、各グループに視点を与え、視聴後にそれぞれの視点で話し合い、最後に話し合ったことを全体でシェアリングすることを予告することで目的意識をもって視聴できるようにする。</li> <li>2 映像視聴「ぐりぶー・さくらのスマホ時代のネットトラブル予防教室」</li> <li>3 グループ討議 各グループの視点にもとづいて、具体的な事例や対処法について話し合う。</li> <li>4 全体でシェアリング グループで話し合ったことを共有し、インターネット利用の留意点や発達段階に応じた情報モラル指導の重要性を確認する。</li> <li>5 学習のまとめ インターネット利用とパソコン全般の利用についての留意点を振り返る。 児童生徒をネットトラブルから守るための指導について共通理解する。 「ぐりぶー・さくらのスマホ時代のネットトラブル予防教室」が各学校に配布されていることを伝え、授業や職員研修、PTA等での活用を促す。</li> </ol>		
成果・課題	<p>映像教材で様々なトラブル事例を具体的に学習することによって、インターネット利用やパソコン全般の利用、スマホ・タブレット等の利用についての留意点を共通理解することができた。</p> <p>携帯・スマホを持っていなくても、その他の機器でトラブルにあったり、保護者の携帯電話等から被害にあったりしている現状が分かり、発達の段階に応じた情報モラル指導の大切さを確認することができた。</p> <p>各学校へ配布された「ぐりぶー・さくらのスマホ時代のネットトラブル予防教室」を活用するように啓発することができた。</p> <p>実際の機器操作を伴った研修は実施できなかった。理解を深めるためにも、今後は履歴の確認の方法やフィルタリングの設定方法等、機器操作を伴った研修を実施したい。</p>		

## 映像教材活用事例 9（前期）

事例提供団体等名	鹿屋市立西原台小学校		
学習・研修会名	避難訓練（不審者対応）	対象者	全校児童
学習・研修内容	不審者に遭遇した際の身の安全確保について学ぶ。		
映像教材名	イカのおすし	種類・時間	DVD・16分
映像教材の概要	不審者への対応の基本として、「イカのおすし（知らない人についてイカない。知らない人の車にのらない。大声で叫ぶ。すぐ逃げる。誰かに知らせる。）」の大切さを映像によって簡潔に理解させ、自身の身を守る手段の一つとして身に付けられるようにする。		
教材借用先等	鹿屋市視聴覚ライブラリー		
映像教材活用の実際	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 訓練の意味や、不審者が侵入した場合の避難方法について知る。</li> <li>2 教室でDVDを視聴し、不審者から自分自身を守るために大切なポイントを知る。（事前指導）</li> <li>3 不審者侵入の放送を聞き、校舎の危険区域から速やかに避難する。</li> <li>4 避難場所に整列する。</li> <li>5 先のDVDで知った「イカのおすし」を全体で再度確認し、警察職員の指導のもと、実際に数名の児童が訓練する。</li> <li>6 学校長の講評を聞く。</li> <li>7 訓練終了後、学級で事後指導を受ける。（事後指導）</li> </ol>		
成果・課題	<p>不審者がどのような様子で近づいてくるのか、映像資料によってイメージがつかみやすく、児童の防犯意識を高めるのに効果があった。</p> <p>「イカのおすし」というキーワードが映像によって分かりやすく説明され、児童の防犯技能として定着しやすい。</p> <p>高学年には内容的に易しすぎたので、学年の発達の段階によって映像資料の選択を工夫したい。</p>		

## 映像教材活用事例 10 (前期)

事例提供団体等名	鹿屋市立祓川小学校		
学習・研修会名	避難訓練	対象者	全校児童
学習・研修内容	安全指導		
映像教材名	「ボクはすぐに逃げたんだ」	種類・時間	D V D ・ 15分
映像教材の概要	3月11日の大震災の際、釜石市の小学生が津波避難の三原則を守って、どのように避難したかを詳細に描いた作品である。地震が起こった時の身の守り方、津波のメカニズムや特徴などをおりまぜて、子どもたちの防災力向上を目的に制作されている。		
教材借用先等	鹿屋市視聴覚ライブラリー		
映像教材活用の実際	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 各学級における事前指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害の恐ろしさについて</li> <li>・ 災害時の避難方法について</li> <li>・ 避難経路の確認</li> </ul> </li> <li>2 避難訓練（地震・火災）の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 校庭へ避難</li> </ul> </li> <li>3 ビデオ視聴 「ボクはすぐに逃げたんだ」</li> <li>4 学習のまとめ</li> </ol>		
成果・課題	<p>避難訓練と映像教材視聴を組み合わせることで、子どもたちに訓練の際の自分の様子と災害時の様子の具体的な場面を重ね合わせることができた。</p> <p>想定外の災害が起こりうることを念頭におき、日頃からその際の行動についてイメージしておくことが大切だということを学習させることができた。</p>		

## 映像教材活用事例 1 1 ( 前期 )

事例提供団体等名	鹿屋市立細山田小学校		
学習・研修会名	道徳の時間	対象者	6年児童
学習・研修内容	道徳		
映像教材名	道徳ドキュメント 人生はチャレンジだ 「あきらめたことをあきらめない」	種類・時間	インターネット 動画・15分
映像教材の概要	辰己さんの自分の夢を実現させようとする姿を通して、自分の目標に向かって、希望と勇気をもってくじけないで努力をしようとする気持ちをもつ。		
教材借用先等	NHK for school ( NHK オンライン )		
映像教材活用の実	<p>1 「あきらめたことをあきらめない」を視聴して辰己さんの生き方について話し合う。</p> <p>スノーボードが大好きだった辰己さんが車いすの生活になったとき、どんな気持ちだったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事故で車いす生活になった辰己さんのショックや悲しみを想像させる。好きなことができなくなった悲しさや寂しさ、つらさを感じとらせたい。</li> </ul> <p>辰己さんが再びチェアスノーボードができるようになったのはどうしてでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 失意の辰己さんがやる気になった転機について考えさせる。夢が叶ったのは、辰己さんの強い意志のほか、玉井さんや奥さんなど周囲の支えがあったことにも気づかせたい。</li> </ul> <p>辰己さんはどんな思いで、現在活動しているのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分が楽しむだけでなく、カヌーや自然体験を障害のある人たちにも楽しんでもらいたいという願いを押える。</li> <li>・ 「自分ため」だけでなく、「障害のある人のため」「家族のため」など、目標の変化に気付かせたい。</li> </ul> <p>2 自分の生活を振り返り、今日の学習から考えたことをまとめる</p> <p>辰己さんの生き方を通して考えたことをワークシートに書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ここまでの話し合いをもとにワークシートに自分の考えを書かせる。</li> <li>・ 「自分の目標を持って努力する姿」に着目させ、自分を振り返らせたい。</li> </ul>		
成果・課題	<p>映像を通して知り、学ぶことで、教材の内容をより身近に感じることができ、自分の体験と結びつけたりして考えを深めることができた。</p> <p>導入・展開・まとめの各場面で映像を随時とめながら学習を進めることで、児童の意欲や関心が途切れることがなかった。</p> <p>映像教材に関連した掲示物や資料などの補助教材を取り入れることができたから、児童が学習により深く取り組むことができたと思う。</p>		

## 映像教材活用事例 1 2 ( 前期 )

事例提供団体等名	鹿屋市立鶴峰小学校		
学習・研修会名	第 5 学年理科学習	対象者	5 年生
学習・研修内容	理科 「天気の変化」		
映像教材名	NHK デジタル教材 5 年生理科 「ふしぎがいっぱい」	種類・時間	インターネット 動画 ( 1 5 分 )
映像教材の概要	気象衛星の写真や天気の様子を見ながら，雲の動きと天気の変化にはきまりがあることに気づかせることをねらいとした映像である。		
教材借用先等	NHK for School ( N H K オンライン )		
映像教材活用の実際	<p>1 気象衛星の雲写真，アメダスの雨量情報などの資料から，日本各地の天気の変化や気温について考える。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">雲の動きや天気の変化には，きまりがあるのだろうか。</p> <p>教科書の資料をもとに，九州・関西・関東地区の天気変化を考える。 5 日間の連続した雲写真やアメダス情報，天気図を見ながら，天気の変化の規則性を予想する。</p> <p>2 衛星写真と各地の天気変化を比べ，雲の動きと天気の変化のきまりについて話し合う。</p> <p>雲は，西から東に動いている。 雲が動くにつれて，天気も西の方から東の方へ変わっている。</p> <p>3 NHK デジタル教材番組を視聴する。</p> <p>やっぱり，雲は西から東に動いていたね。 西の地方の天気を見ると，次の日の天気が分かるかもしれないね。</p> <p>4 学習のまとめをする。</p>		
成果・課題	<p>○ 気象衛星の写真が時間ごとに動くので，各地の天気の変化がとらえやすかった。また，気象衛星の写真に合わせて，各地の天気の様子が映像で分かるので，雲の動きと天気の変化を理解することができた。</p> <p>視聴後に思ったことや考えたことを話し合わせることで，さらに授業の充実を図っていきたい。</p>		

## 映像教材活用事例 1 3 ( 前期 )

事例提供団体等名	中種子町立納官小学校		
学習・研修会名	校内研修	対象者	教職員
学習・研修内容	食物アレルギー対応研修		
映像教材名	「学校の管理下における食物アレルギーへの対応～教職員の共通理解～」	種類・時間	D V D ・ 45分
映像教材の概要	学校において食物アレルギーの事故を起こさないためにはどうしたらよいのか。万一、児童生徒が食物アレルギーやアナフィラキシーショックを起こしてしまった場合にはどうすればよいのか。対応の仕方について、分かりやすく説明している。		
教材借用先等	中種子町学校給食センター		
映像教材活用の実際	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 食物アレルギーの種類や症状について、これまでの知識をもとにグループでまとめる。</li> <li>2 「学校の管理下における食物アレルギーへの対応～教職員の共通理解～」のDVDを視聴する。</li> <li>3 DVDの内容について振り返る。 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 食物アレルギーを起こさないための対応策</li> <li>(2) アナフィラキシーショックを起こした時の対応 <ol style="list-style-type: none"> <li>ア エピペンの使用方法と注意点</li> <li>イ 救命救急の対応</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>4 中種子町学校給食センターにおけるアレルギー対応について確認する。</li> <li>5 本校で策定した食物アレルギー対応マニュアルの読み合わせを行い、修正点がないか検討する。</li> <li>6 研修を振り返る。</li> </ol>		
成果・課題	<p>エピペンの使い方について、映像を見ながら正しい知識を身に付けることができた。</p> <p>本校には、食物アレルギーのある児童はいないが、該当者が認められた場合の実際の対応については、毎年年度当初に研修を行い、共通理解する必要がある。</p>		

## 映像教材活用事例 1 4 ( 前期 )

事例提供団体等名	中種子町立納官小学校		
学習・研修会名	家庭教育学級	対象者	全保護者・職員
学習・研修内容	ネットいじめ・ネットトラブルに関する研修		
映像教材名	ぐりぶ～・さくらの 「スマホ時代のネットトラブル予防教室」	種類・時間	D V D ・ 10分
映像教材の概要	児童・生徒及びその保護者に対して、ネット社会の実態と危険性を啓発すると同時に、ネットトラブルに遭遇した際の対処法を学ぶ。		
教材借用先等	中種子町立納官小学校（鹿児島県から各学校に配付）		
映像教材活用の実際	<p>1 各家庭におけるインターネットの利用状況について話し合う。</p> <p>2 「ぐりぶ～・さくらの『スマホ時代のネットトラブル予防教室』」を視聴する。</p> <p>3 D V D の内容を踏まえながら架空の事例を挙げ、内容の問題点や対処法について研究協議をする。</p>		
	事例	<p>娘の学校の運動会の様子を写真に撮り、文章を添えたものを応援に来られなかった祖父母に「L i n e」で知らせた。</p> <p>【問題点として考えられる例】 写真や文章が不特定多数に渡る可能性が高い。</p> <p>【対処法として考えられる例】 不特定多数の人が簡単に閲覧できるアプリ等は使わない。</p>	
成果・課題	<p>ネット社会における危険性について、D V D 視聴を通して具体的に学ぶことができた。</p> <p>研究協議を通して、身近に起こりうる事例の対応について学ぶことができた。</p> <p>保護者が思っている以上に、子供たちを取り囲むネット環境は広がりを見せている。社会の変化に対応した研修に随時取り組むべきである。</p>		

## 映像教材活用事例 15 (前期)

事例提供団体等名	中種子町立増田小学校		
学習・研修会名	家庭教育学級	対象者	保護者全員
学習・研修内容	大人の人権教室		
映像教材名	ケータイ・トラブル ～子どもを犯罪者・被害者にさせない～	種類・時間	DVD・25分
映像教材の概要	ケータイによる犯罪・事件に子供が巻き込まれる事案が増えている背景や子供が起こしたケータイトラブルを3つの事例で紹介し、子供を犯罪者や被害者にさせないようにするためにはどうしたらいいか、保護者が考えるきっかけになる内容である。		
教材借用先等	鹿児島法務局人権擁護課		
映像教材活用の実際	<p>1 人権について，人権擁護委員の話を聞く。</p> <p>(1) 人権は思いやりの心(いじめ，虐待，DVなど起こらない)</p> <p>(2) 身近な人権問題(スマホ，盗み見，離婚問題など)</p> <p>2 映像教材を視聴する。</p> <p>「ケータイ・トラブル ～子どもを犯罪者・被害者にさせない～」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例 「掲示板の罠」</li> <li>・事例 「学校裏サイトの罠」</li> <li>・事例 「プロフ(自己紹介サイト)の罠」</li> </ul> <p>3 意見交換・感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の様子を常に気につけ，家庭での会話を大切にしたい。</li> <li>・有害サイトを見ている子供も多い。子供のよさを積極的に褒める親子の関わり方をしていきたい。</li> </ul> <p>4 人権擁護委員によるまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供も苦しんでいるので，本音を語らせる環境をつくる。ケータイの使い方を気に留め，ケータイに逃げ込まないようにする。</li> </ul> <p>5 校長先生のお話</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・善悪の判断をしっかりできる間違いのない子供を育てる。</li> <li>・氾濫した情報を自ら選択・判断できる力を確実に身に付けさせ，ネットをいじめや誹謗・中傷の手段にしないことが大切である。</li> </ul>		
成果・課題	<p>1 成果</p> <p>(1) DVD視聴を通して，ケータイ・スマホの利便性の裏には，子供が陥りやすい罠があることを理解できた。</p> <p>(2) 子供の心身の健康への影響を考え，家庭での親子関係について振り返る機会にすることができた。</p> <p>2 課題</p> <p>(1) ケータイ・スマホの使い方は常に子供の方が進んでいる。与えっぱなしにならないために定期的な学習会の開催が必要である。</p> <p>(2) 様々なメディアへの適切な接し方ができるよう，家庭ではメディアコントロールのためのルールづくりと実践を続ける必要がある。</p>		



## 映像教材活用事例 16 (前期)

事例提供団体等名	屋久島町立八幡小学校		
学習・研修会名	職員研修	対象者	職員
学習・研修内容	セクシュアル・ハラスメント，パワー・ハラスメント		
映像教材名	教員のためのメンタルヘルス	種類・時間	DVD・23分
映像教材の概要	<p>喫緊の課題となっている教員のメンタルヘルス対策のDVDである。ベテラン教員が校務分掌の負担とこれまでとは違う仕事の進め方に戸惑い，子供たちとの時間を十分に確保することができず，クラスは荒れ気味になる。ストレスから体調を崩し，やがて適応障害を発症してしまう内容である。</p> <p>自分を追い込まない心もち方，自分自身で心身の変調を早期発見・早期対応するためのポイントといったセルフケアの方法をケースドラマをもとに学ぶことができる。</p>		
教材借用先等	鹿児島県視聴覚ライブラリー		
映像教材活用の実際	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 テーマ説明とグループづくり             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 研修のねらい，目的について簡単に説明をする。</li> <li>(2) 2つのグループに分け，それぞれ進行係，記録係を決める。</li> </ol> </li> <li>2 セクハラ，パワハラについて             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 職場におけるセクハラ，パワハラについて</li> <li>(2) 児童生徒に対するスクール・セクシュアル・ハラスメントについて</li> <li>(3) セクハラ，パワハラ防止について</li> <li>(4) メンタルヘルスの大切さについて</li> </ol> </li> <li>3 DVD視聴</li> <li>4 第1回衛生委員会の報告</li> <li>5 グループ討議             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) DVD視聴の感想や本校の職場環境について話し合う。</li> <li>(2) 安心・安全な職場づくりについて話し合う。</li> </ol> </li> <li>6 研修のまとめ</li> </ol>		
成果・課題	<p>準備した資料の読み合わせを通して，職場におけるセクシュアル・ハラスメント，パワー・ハラスメント，スクール・セクシュアル・ハラスメントについて研修を深めることができ，教員としての資質を高めることができた。</p> <p>校務分掌や学級事務等の仕事の負担が大きくなり，教員のメンタルヘルス対策が課題になっている。DVD視聴を通して，自分自身のヘルスケア，同僚教員による相互ケア，管理職によるラインケアの3つのケアの大切さを学ぶことができた。</p> <p>映像教材等を活用する際は，早めに予約をしておき，編集内容に沿った資料準備が大切だと考える。</p>		

## 映像教材活用事例 17 (前期)

事例提供団体等名	宇検村立久志小学校		
学習・研修会名	社会科学習	対象者	小学6年生
学習・研修内容	安土桃山時代		
映像教材名	比べてみよう 全国統一を目指した3人の武将	種類・時間	インターネット 20分
映像教材の概要	3人の武将(織田信長・豊臣秀吉・徳川家康)がどんなことをしたのか、城はどうだったか、戦い方はどうか、等を比較する。		
教材借用先等	NHK for School (NHKオンデマンド)		
映像教材活用の実際	<p>1 「ホトトギスのうた」を掲示し、どのうたが誰のうたかを当てるクイズをする。</p> <p style="padding-left: 40px;">鳴かぬなら鳴かせてみせようホトトギス(秀吉) 鳴かぬなら鳴くまで待とうホトトギス(家康) 鳴かぬなら殺してしまえホトトギス(信長)</p> <p>2 本時の授業における学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">全国統一をめざした3人はどのような人物だったのだろうか</p> </div> <p>3 前時までで学習したことや調べたことを発表する。</p> <p style="padding-left: 40px;">3人の業績、違い等を整理する。</p> <p>4 電子黒板に「NHK for School」の動画クリップ集を掲示し、児童が興味をもった動画を見せる。</p> <p>5 動画をいくつか見せたら、「天下もちのうた」(織田がつき羽柴(豊臣)がこねし天下もち座りしままに食うは徳川)を掲示し、まとめの動画を見せる。</p> <p>6 本時の感想を発表する。</p>		
成果・課題	<p>教科書や資料集だけで見ると、動画として視覚に、音声として聴覚に、直接具体的に訴えるため、印象が深く、歴史への興味や関心が高まった。</p> <p>実際には安土桃山時代を生きていないが、映像を通してイメージをもちやすくなった。</p> <p>インターネットの映像教材は、多数の映像教材から即座に選択し使用できるので準備が容易である。また、授業の展開に応じて臨機応変に操作できるので便利である。</p>		

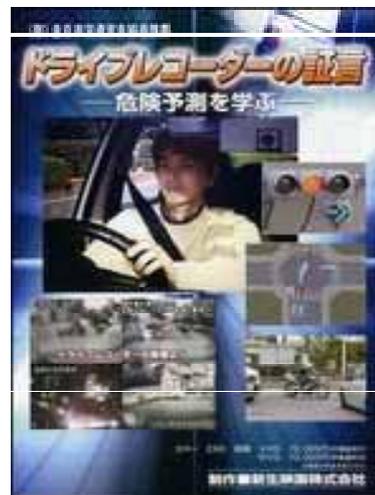


## 映像教材活用事例 18 (前期)

事例提供団体等名	瀬戸内町立薩川中学校		
学習・研修会名	総合的な学習の時間	対象者	全校生徒
学習・研修内容	修学旅行事前学習		
映像教材名	さとうきび畑の詩 清ら島 沖縄 ～摩文仁からのメッセージ～	種類・時間	DVD ・32分
映像教材の概要	戦没者の鎮魂と恒久平和を訴え続ける平和立県・沖縄の姿と独自の歴史や文化，自然等をわかりやすくまとめている。		
教材借用先等	寄贈 (財団法人 沖縄協会)		
映像教材活用の実際	<p>1 導入</p> <p>(1) 学習のねらいや見通しについて説明する。</p> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【学習目標】 沖縄の現在の姿や歴史・文化について理解を深めよう。</p> </div> <p>「今度修学旅行で行く沖縄について知っていることをあげてみよう。」          例 琉球王国・台風・沖縄戦・パイナップル など          「予備知識なしに沖縄に行ったらもったいないよ。」          「ではこのビデオを見て，沖縄への理解を深めよう。」</p>		
	<p>2 展開</p> <p>(1) ビデオ「さとうきび畑の詩 清ら島 沖縄」の視聴              興味をもったことについてワークシートにメモを書かせる。</p> <p>(2) 興味をもったことについて意見交換を行う。              自由に意見を言える雰囲気作りに努める。              なるべく根拠を明確にして発表させる。</p> <p>(3) これからつくるレポートのテーマを決める。              平和・文化・歴史などの視点を与える。              自主研修の行き先の参考にすることで意欲を高めさせる。</p>		
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビデオを見ることにより，沖縄についてのイメージを強く意識付けることができた。その後の調べ学習にスムーズにつながられた。</li> <li>・ ビデオの印象が強いため，生徒の発想がビデオだけに引っ張られる恐れがある。深く考える時間をしっかりと確保したり，他のグラフなどの資料を使ったりして，多面的・多角的な内容につながるようにしたい。</li> </ul>		

## 映像教材活用事例 19 (前期)

事例提供団体等名	龍郷町立龍郷小学校		
学習・研修会名	校内研修	対象者	職員
学習・研修内容	サービス規律に関する研修		
映像教材名	「ドライブレコ - ダ - の証言 ～危険予測を学ぶ～」	種類・時間	DVD・23分
映像教材の概要	ドライブレコーダーの映像記録をもとに、事故の原因を分析し、どのような危険予測が必要かを理解することのできるドライバー向けの教育用ビデオ。		
教材借用先等	交通安全協会		
映像教材活用の実際	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 研修のねらいと流れの説明 (1) ねらい 日常生活で「日頃から意識しておくべきことは何か」を考える。</li> <li>2 映像教材視聴 「ドライブレコ - ダ - の証言 ～危険予測を学ぶ～」</li> <li>3 映像教材についての感想の発表と意見交換 交通事故を防止するために、漫然とした運転ではなく、危険を予測した運転を心掛ける大切さとポイントを確認する。</li> <li>4 法令の確認 「懲戒処分」について、交通事故だけでなく体罰、わいせつ行為といった信用失墜行為に関わる実際例(処分の確定したもの)を示し、具体的に説明する。併せて給与面についても説明する。</li> <li>5 研修のまとめ 信用失墜行為をしないために、日頃から意識しておくことを記録簿にまとめる。</li> <li>6 校長講話</li> </ol>		
成果・課題	<p>交通事故という身近な話題からねらいに迫ったことや実際の映像を見ながらの研修だったので、より自らのこととして考える研修となった。さらに「懲戒処分」についても、具体的な内容だったので、子どもたちの見本とならなければならないという意識を強くもてたようである。</p> <p>今回の研修での成果を日常の生活や学校教育活動に生かすために、一人一人が意識高揚・意識改革に努める。</p>		



## 映像教材活用事例 20 (前期)

事例提供団体等名	喜界町図書館		
学習・研修会名	ミニ映画会	対象者	幼児・小学生
学習・研修内容	友情		
映像教材名	1年1組シリーズ	種類・時間	VHS・13分
映像教材の概要	<p>今日は日曜参観日。僕が苦手なドッジボールをきっかけに、お父さんや上級生ともめるんだ。僕と黒沢君は強くなる印籠を持っている。これさえあればこわくないぞ！1年1組の元気でいたずらな黒沢君と、それにふりまわされながらも友情を育てているぼくとの感動的で心に残る物語。</p>		
教材借用先等	奄美群島広域事務組合視聴覚ライブラリー		
映像教材活用の実際	<p>喜界町図書館運営方針として、町民が生涯にわたって学び続けることを支援する生涯学習支援センターとして、各種資料の収集・整理・保管に努め、暮らしに役立つ資料をそろえた生活情報センターとしての機能を高めていくようにしている。</p> <p>運営目標として「生活の中に図書館！」を大きな目標として掲げ、町民に親しまれる図書館運営を行っている。</p> <p>その活動の努力目標のひとつに、幼・小・中・高・一般それぞれの年代での読書推進にあたり、広報活動・魅力のある事業の実践を図るようにしている。</p> <p>毎週土曜日に、指あそび・お話し会のあとミニ映画会（VHS・DVD）を実施して、季節や行事に応じたもの、発達段階に応じたものを上映している。</p> <p>映画視聴後に、子どもたちに感想を発表させている。</p> <p>ミニ映画会の実際</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 幼稚園や学校でのお友達との遊びで困ってしまったことはないか話し合う。</li> <li>2 ビデオを視聴する。</li> <li>3 視聴した後、感想を発表する。</li> <li>4 お友達と仲良く過ごすにはどんなことに気をつければいいか話し合う。</li> </ol>		
成果・課題	<p>視聴覚教材をとおした取組は、子どもたちにとって疑似体験ができ、感想も活発になる。また、映画視聴後は、上映中の映画に関する図書の出借が増えている。</p> <p>発達段階に即した教材選定を関係機関と連携して行っていきたい。</p> <p>中・高校生の利用者を増やし読書活動を推進していきたい。</p>		



## 映像教材活用事例 2 1 (前期)

事例提供団体等名	喜界町立喜界中学校		
学習・研修会名	道徳の時間	対象者	中学2年生徒
学習・研修内容	人権・いじめ問題について考える。		
映像教材名	「見上げた青い空」	種類・時間	DVD 34分
映像教材の概要	<p>前の学校で幼なじみがいじめを苦に自殺をし、いじめの中心人物に仕立てられた良太は転校することになる。しかし、転校した先でもネットによるいじめなど陰湿ないじめが行われていた。いじめられて苦しむ幸江だが、病気で長く生きられない志保と話をし、生きたいのに生きられない思いを知る。やがていじめは明るみになり、それまでいじめがないと思っていた担任教師もクラスで話し合おうと生徒に呼びかける。</p>		
教材借用先等	本校所有のDVD(備品)		
映像教材活用の実際	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 事前にいじめ・人権アンケートをとり、生徒の実態を把握しておく。</li> <li>2 DVDを視聴する。 「見上げた青い空」</li> <li>3 教師による説話を行う。 (1) 生徒指導担当が、アンケート結果をもとに、DVDで行われたいじめはこの学校でもあることを訴え、いじめの問題がどこでも行われることを伝える。さらに、いじめに苦しんでいる生徒やいじめに気付いている生徒は話をしにきてほしいと伝える。 (2) 社会科担当が、いじめの法規的なことについて触れる。「いじめ防止対策推進法」により、社会全体でいじめをなくそうという法律ができたこと、さらに刑法などを引用し、いじめは犯罪行為であることを認識させ、14歳という年齢は自分の言動にも責任を持たねばならない年代であることを話す。 (3) 学年主任が、みんなが楽しく学校生活を送ることが最も大切なことであると伝え、そのためにみんなのことを考えながら行動し、よりよい仲間作りをしていこう、みんなで楽しく過ごせる学年・学級を作ろうと呼びかける。</li> <li>4 感想用紙を記入する。</li> </ol>		
成果・課題	<p>いじめの事案が学年で発生し、さらにいじめアンケートでもからかわれたりして嫌な思いをする生徒がいるとわかったため、アンケートの内容も踏まえて話をした。本校生徒の様子を見て、からかったりすることで相手が傷ついたりするという認識がうすく、いじめを行っているにもかかわらずそれをいじめと認識していないことが考えられた。心に届くよう話をしたつもりではあるが、今後も注意して生徒のようすを観察していく必要がある。</p>		



## 映像教材活用事例 2 2 ( 前期 )

事例提供団体等名	天城町立兼久小学校		
学習・研修会名	校内研修	対象者	教職員
学習・研修内容	信頼される教職員・学校づくり～交通違反撲滅～		
映像教材名	交通安全教育用ビデオ 「飲酒運転許されない犯罪」	種類・時間	DVD 23分
映像教材の概要	主人公が起こした飲酒運転による死亡事故が、地域や勤務先、また一緒に飲酒をした友人や飲食店の店主などを巻き込んでいくという、周辺者の責任も描いた内容。		
教材借用先等	徳之島警察署		
映像教材活用の実際	<p>1 日時 平成26年7月18日(金) 14:25～15:10</p> <p>2 場所 天城町立兼久小学校 職員室</p> <p>3 受講者 兼久小学校教職員 10名 外部講師 徳之島警察署地域課瀬滝駐在所 警部補</p> <p>4 日程及び内容</p> <p>(1) 映像教材視聴 「飲酒運転許されない犯罪」 映像には飲酒運転をおこした本人のみならず、一緒に飲酒をした友人や飲食店の店主など周辺者の責任も描き、飲酒運転は絶対にしてはならない、させてはならない、許されない犯罪であることが描かれている。</p> <p>(2) 外部講師による講習資料を活用した管内交通事故発生状況及び要因(H26年6月末現在)と警察組織におけるアルコールチェッカーの具体的な活用法についての説明</p> <p>(3) 映像教材視聴後、感想発表・意見交換、質疑応答及びサービス指導個人ファイルへの記入 &lt;研修後の感想&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属校や家族、児童や地域社会への責任を重く受けとめ、絶対に飲酒運転をしないための対策を考える。</li> <li>・ 教職員としての模範になる言動に気をつけるとともに、飲酒後のアルコールチェッカーの活用も行いたい。</li> </ul> <p>(4) まとめ 校長指導</p>		
成果・課題	<p>映像教材を活用することで、飲酒運転後の事例内容を具体的に考える事ができた。誰にでも起こりえる事例であり、本人の心がけだけでなく、飲酒運転防止に向けた周辺の声かけも大切であることを再確認できた。</p> <p>飲酒後のアルコールチェッカー活用への認識も高まった。</p> <p>今後も、視聴覚ライブラリーや関係機関と連携を図り、プリント資料に併せて映像資料も取り入れた研修に取り組んでいきたい。</p>		



## 映像教材活用事例 2 3 ( 前期 )

事例提供団体等名	知名町立田皆小学校		
学習・研修会名	学級活動	対象者	3・4年
学習・研修内容	むし歯をつくるおやつ(歯科指導)		
映像教材名	新ぎもん・しつもん!むし歯の予防	種類・時間	DVD・8分
映像教材の概要	<p>「乳歯の半分がむし歯」だった6歳の少女が、「歯の生え替わり」を契機に「むし歯ゼロ」を目指してから10数年。再度にわたる「C0(要観察歯)」のピンチも見事に乗り越えた映像ドキュメント。歯科検診における「C0(要観察歯)」の意義、興味の尽きない「だ液のサイエンス」、「再石灰化」、そして「歯磨き習慣」から「食習慣の改善」まで、現代の歯科保健指導のエッセンスのすべてが簡潔な映像教材として網羅されている。</p>		
教材借用先等	知名町学校保健会		
映像教材活用の実際	【3・4年(複式学級)の学級活動にて映像教材を使用】		
	1 主題「むし歯をつくるおやつ」		
映像教材活用の実際	2 目標	おやつとむし歯の関係について調べる活動を通して、今後のおやつのとりについて考えることができる。	
	3 活用の実際	<p>(1) おやつとむし歯の関係をj知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ むし歯ができる理由やその過程を科学的に理解させるためDVDを視聴した。</li> </ul> <p>(2) むし歯になりやすいおやつとなりにくいおやつに分ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 砂糖の量・食べている時間・歯への付きやすさの観点で、分類をさせた。</li> </ul> <p>(3) 歯によいおやつを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「歯によいおやつ」や「歯によい食べ方」について理解させるために、DVDで確認した。</li> </ul> <p>(4) 今後のおよつjの食べ方について、気を付けたいことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ むし歯のでき方と砂糖の量について、振り返りながら、気を付けていきたいことを発表させ、学習をまとめた。</li> </ul>	
成果・課題	【成果】	口の中でむし歯ができるプロセスを映像で見ることにより、より強く理解させることができた。 歯によいおよつjの選び方や食べ方を考えようという意識が高まった。	
	【課題】	学習したことを日常生活の中で実践し、継続させることが課題である。	

